



平成 20 年 1 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社カンセキ
代表者名 代表取締役社長 長谷川静夫
(J A S D A Q ・ コード番号 9903)
問合せ先 執行役員経理部長 高橋 利明
(TEL. 028-659-3112)

平成 20 年 2 月期の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 10 月 18 日中間決算発表時に公表しました平成 20 年 2 月期(平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日)の業績予想について下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正(平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日) (単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	35,170	790	300	50
今 回 修 正 予 想 (B)	33,970	630	100	50
増 減 額 (B-A)	△1,200	△160	△200	—
増 減 率 (%)	△3.4%	△20.3%	△66.7%	—
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 2 月期)	—	—	—	—

(注) 当社は、平成 19 年 8 月中間期より連結財務諸表を作成しているため、前期実績の記載をしておりません。

2. 個別業績予想数値の修正(平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日) (単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	35,000	790	300	50
今 回 修 正 予 想 (B)	33,800	630	100	50
増 減 額 (B-A)	△1,200	△160	△200	—
増 減 率 (%)	△3.4%	△20.3%	△66.7%	—
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 2 月期)	31,841	746	213	△132

3. 修正の理由

当期の業績に関し、売上高は新規出店の効果もあり前年実績を上回る見通しではありますが、原油価格等の高騰による影響で仕入れ価格が上昇しており、その上昇分の価格転嫁を当社では最小限に抑えてまいりました結果、主力事業であるホームセンター事業の粗利益率が低下し、当初計画を下回る見込みとなりました。

WILD-1、食品販売、オフハウスの各事業につきましては、ほぼ計画を達成しております。

経常利益につきましては、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、新規出店によるコストの増加等の影響もあり1億円となる見込みとなりました。

当期純利益につきましては、特別利益に役員退職慰労引当金の戻入益1億4百万円の発生によりほぼ計画通りの50百万円となる見込みです。

通期の連結業績予想については、個別業績予想の修正を受けて、上記記載のとおり修正いたします。

(注) 上記記載した業績修正につきましては現段階の入手可能な情報に基づいて判断しておりますが、実際の業績は、様々な要因の変化により、上記の予想数値と異なる可能性があります。

以 上